

ひろこ倶楽部だより

VOL.13

後援会バス旅行は秋に行います。



春が来ましたね。第1回定例会では、17年度予算についての審議が行われ、予算特別委員として、企画調整局・市民参画局・人事委員会の3つの局別審査の質問を担当いたしました。

企画調整局



今、ポートアイランドII期では、医療産業都市構想が展開されています！！

医療産業都市構想とは？

震災後、低迷した神戸経済の活性化と、先端技術を用いた市民福祉・広くアジアへの国際貢献をするという目的で計画された「医療産業都市構想」は、今年7年目を迎え、島津製作所、テルモ、など73社の企業が集積しました。

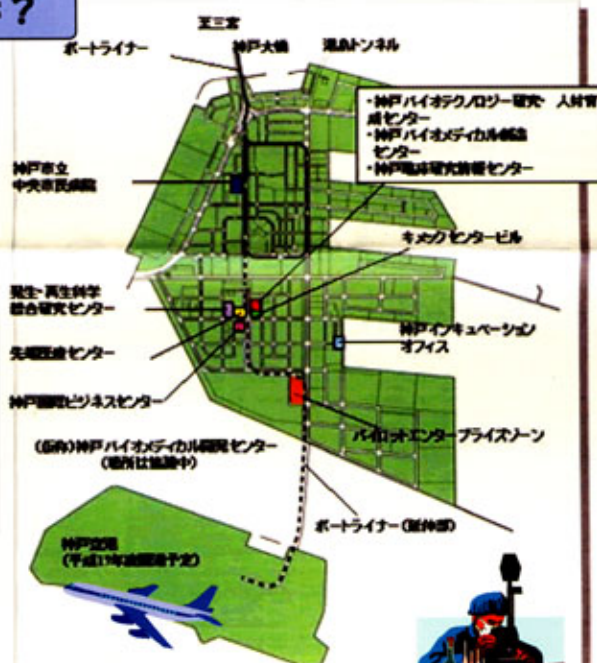
そのテーマに、**再生医療**の基礎研究から臨床応用が挙げられており、現在、日進月歩の研究が進められています。



医薬品の治験



医療機器の開発



基礎研究



臨床応用

先端医療センター



PET、CT ライック、高磁場 MRI などを持ち、先端医療・再生医療の臨床応用の拠点となる。

神戸臨床研究情報センター



市民への情報発信。個人の遺伝的特性や生活習慣に応じた治療・予防法の開発や人材育成など。

理化学研究所神戸研究所 発生・再生科学総合研究センター



再生医療の実現に向け、「発生のしくみ」「再生のしくみ」「医療への応用」3つの研究領域を設けて総合的に研究を推進している。

再生医療ってどんな医療？

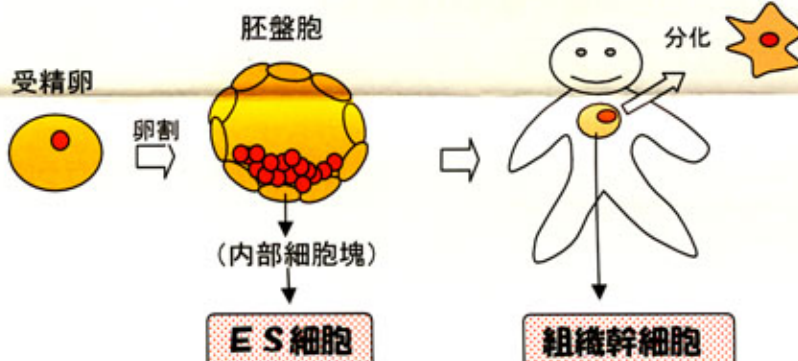
再生医療とは、けがや病気などで体の一部や機能が失われた時に、**細胞を利用して、その失われた機能を取り戻す（再生する）**ことをはかる治療のことです。

細胞は、**自分自身の細胞、他人の細胞、動物の細胞**などで、細胞の外から何らかの工夫を加え、その持っている能力を身体の中で発揮させ、機能を回復させる治療を行います。

私たちの皮膚は毎日入れ替わっていますよね。血液も周期的に入れ替わっています。こうして入れ替わることができるのは、その細胞を生成する能力を持った細胞「**組織幹細胞**」が身体の中にあって、必要になれば分化を行い、その組織の細胞になるからです。

自分自身の細胞とは、この**組織幹細胞**のことを指します。

ES細胞と幹細胞について



これとは別に、受精卵が卵割のあとに、すべての細胞に分化する能力を持つ内部細胞塊を作ります。「**ES細胞**」は、この内部細胞塊から樹立されたもので、身体の中のいろいろな組織へと分化できる多分化能を持っています。

〒655-0034 神戸市垂水区仲田3-1-8-202

神戸市議員 川原田弘子

TEL&FAX 078-709-8998

e-mail: happy@hiroko-club.com

ホームページ: <http://www.hiroko-club.com>



何でもお気軽に声をかけてください

質問：医療機器開発について

医療機器の開発は現在どれくらい行われていて、販売の承認がおりているものはどのくらいですか？また、医療機器については、知的所有権の調査やこの4月に改正される薬事法の手続きや治験など、開発後も資金面で大変と思いますが、大企業との連携（OEM）や国の支援等も含めてどうですか？

市回答：41件が開発済みで、24件が開発中。41件のうち、販売中の機器は10件、これに特注品を加えると25件が製品化されている。国も力を入れており、経済産業省や文部科学省などで分子イメージング関連のプロジェクトなどの予算が措置されている。医療関連の大企業との連携も、ご指摘のようにOEMを始め進めていくことで、製造委託、改良、試作の受発注などの分野も進めていきたい。

要望：神戸の中小企業には優秀な技術があり、優秀な人材があふれています。これは神戸の隠れた資産のひとつ。ぜひ、医療機器のメーカーに育て上げてもらいたい。

質問：再生医療について

再生医療は現在どこまで進んでいて、先端医療センターではどうですか？また、自分の細胞を利用するには、数・量などが必要で、そのためには細胞培養が非常に重要と聞きます。細胞培養センターの現状と今後の見通しはどうですか？

市回答：再生医療は、先端医療センターと発生・再生科学総合研究センターを中心として、京阪神の各大学や研究機関の連携により最先端の研究が実施されている。ポーアイⅡ期への進出企業では、オステオジェネシスが歯槽骨、オリンパスが骨、アムニオテックが角膜再生、キリンビールが造血幹細胞、テルモが心筋、帝人が関節、日本シエリングが神経、DHCが皮膚、日立メディコが歯など、これらのほとんどは患者自身の細胞を利用するもの。理化学研究所では、ES細胞を利用した研究も行われており、パーキンソン病のための神経細胞の再生やインシュリンを作る細胞の再生の研究が行われている。先端医療センターでの臨床応用の例として、パーチャー病等の患者さんが8例臨床研究を受けられ、順調に推移している。細胞培養センターは、国内で厚生労働省のGMP基準に準拠した施設として企業に貸し出しを行っている事例はなく、再生医療の研究の要。現在6社が入居している。これらの企業が培養する細胞や組織が薬事法により承認され製品化されることで再生医療の拠点として求心力が高まることを期待している。

要望：ここ1、2年で道が開けてきました。市民にどこまで進んでいて現状どうなのかをもっと広くPRすることで、次はどんな病気が直るのかと市民から期待されるプロジェクトにするべきと考えます。

パーチャー病とは？

手足の血管が細くなったり、つまったりして、十分な血流が保てなくなり、歩行時にしびれや激痛、進行すると手足が壊死に至る「慢性重症下肢虚血（慢性閉塞性動脈硬化症・パーチャー病）」という病気があります。

先端医療センターでは、血管の幹細胞（血管内皮前駆細胞）を増やす薬の投薬を受けた後、患者さんから血液を採取し、血管の幹細胞のみを血液中から分離し、患部である下肢の筋肉内へ注射（移植）する治療法を、中央市民病院との連携のもと行っています。外科的なバイパス手術など、従来の方法では治療できない患者さんを対象としており、平成15年11月に1例目をはじめてから、現在までに8例への治療を終えています。

痛みが軽くなったり、歩行距離が伸びるなど、治療を受けた患者さんは良好な術後を経過しています。また、心筋梗塞や狭心症などの患者さんに対して、同様の手法による心血管の再生治療を計画しています。

治療前 ⇨ 治療後



パーキンソン病治療に可能性

パーキンソン病は、中脳黒質のドーパミンを産生する細胞の機能低下が原因といわれています。発生・再生科学総合研究センターでは、サルのES細胞を用いて、ドーパミン産生神経細胞の分化に関する研究を行っています。この研究は、将来パーキンソン病の治療に利用される可能性があります。

哺乳類の中枢神経系は、再生能が低く、一度障害が発生すると、再生することが難しいといわれています。このため、パーキンソン病などの中枢神経系の疾患には神経細胞の移植が注目され、その供給源としてES細胞が期待されています。

サルでの細胞移植の実験では、約3ヶ月で神経症状の改善などが見られた。

<課題>

- 長期スタディー（1年以上）の実施による効果・副作用観察
- ヒトES細胞の培養法・分化法の至適化
- 細胞分離・選択技術の高度化
- 安全性の検証法の確立

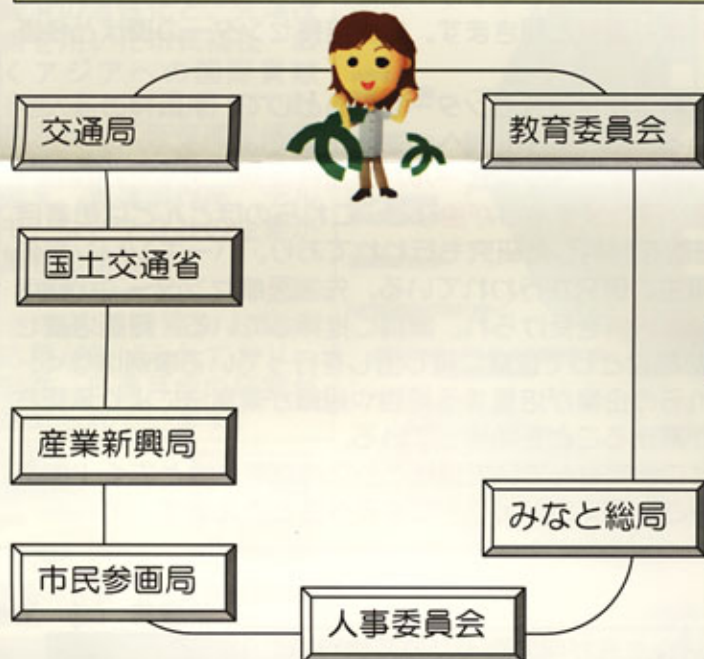
質問：中学校のクラブ活動について

中学校のクラブ活動は、「顧問には教師しか就任できない」ため、少子化で教師の数も減る現在、部の新設ができなかったり廃部になったりと、せっかく小さい頃から野球やサッカーをやっている、中学で部活ができない子供がいます。地域には指導してもらいたいという方々がいっても教師でないと顧問になれず、本会議では「県の中体連に改善を要請している」ということであったが、市として積極的な取り組みは？

市回答：県の中体連には、「合同チームの条件緩和」と「外部指導員が顧問になれる」ことを強く要望しているところである。そうはいつてもなかなか前に進まないの、今年度は市の中体連と協力して「合同チーム」の条件緩和に着手していきたい。

再質問：合同チームも、練習時間など課題も多い。また、地元の指導者も顧問になれるよう、積極的に取り組みべきと考えるがどうか。

市再回答：そうしたプランは、モデル実施の中で試していきたい。まずは、合同チームの規制緩和から始め。実績を持って要望したいと思っている。



発達障害児に対する支援促進を求める意見書

自閉症、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、アスペルガー症候群など、発達障害への対応が緊急の課題となる中、国に対して、発達診断基準を明確にすること、原因の究明及び治療方法の調査研究を行うこと、財政措置、乳幼児健診の充実、保育所・幼稚園・学童保育での受け入れなどを盛り込んだ意見書を提出することが決議されました。

海上アクセスについて附帯決議を付して決議

H17年度予算は、海上アクセスについて下記の附帯決議を付して決議されました。

- 海上アクセス再開にあたっては、海上アクセス（株）が適正な運行計画の下、健全な運営となるようよう努め、累積債務の解消のため、収益性のある事業に取り組むよう、当局として必要な対応を行うこと。
- 国、県、関空（株）に対して、同航路の運営に対する支援を強く働きかけること。

質問：区役所の日曜オープンについて

今回、区役所が期末前後に2回だけ日曜開庁しました。1年前に本会議で質問したときには、「検討もしておりません」という冷たい答弁をいただきましたが、そのときの理由は予算がかかるということでした。今回の800万円という予算の内訳は？また、予算をかけずに民間でやっている時差出勤や代休制を利用して、ずっと続けることはできませんか？

市回答：委員からの指摘を受け検討を行ってきた。（本城かなあ…川原田談）800万円については土日に運用するためのソフトウェアの改修などで、日曜出勤は超勤を使わず代休を利用している。常時となると区役所の業務では代休制のみでは難しい面もある。今回の実施の結果をみて今後どのようなサービスができるか検討したい。

再質問：県の免許更新センターも毎日曜日となります。代休などで対応できるのであれば、試行といわずに今後もぜひ続けていってほしいと要望します。

区役所の窓口や市民相談の窓口についても、せっかく相談に行っている人の立場に立って答えてもらいたいという質問・要望をしました。

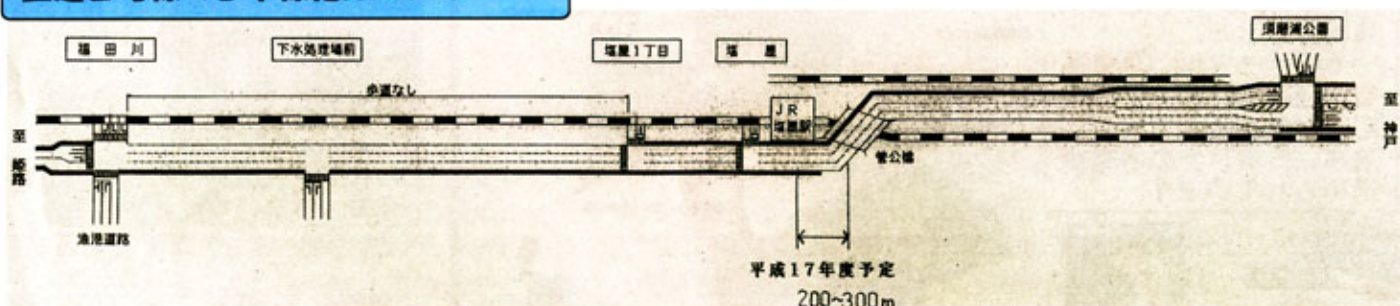
質問：市長への手紙について

市長への手紙に、期待をして手紙を書いた人から、「検討もせず否定された」とおしかりの手紙を受け取りました。もっと前向きにこたえられませんか。要望や提案の区分はどうですか？いいアイデアには予算をつけることはできませんか。

市回答：要望が5割強、苦情が2割、意見が1割。提案もある。予算が必要なものとらないものがあるが、例えば国民健康保険のコンビニでの納付など、採用し、予算措置をしている。広くアイデアを募集していく時代であり、市長への手紙について表彰というのは難しいが、ホームページなどに紹介していきたい。



運賃 大人200円 小児100円 昼間時間帯中心（市バス6、山陽バス6 12往復）
平成17年5月9日から運行開始予定



一昨年の「ひろこ倶楽部だより」で、2号線の3車線化について取り上げましたが、その際は、JR との地中埋設物の移設などで、協議中であるということでした。今年度から、国土交通省で実際の工事が始まるということです。今年度は、JR 塩屋駅の南側の部分の3車線化に取りかかります。リバーシブルレーン（車線の進行方向が朝夕で入れ替わるレーン）については、導入せずに、方向固定でいくようです。

市回答：移転のみでなくハローワークとオンラインでつなぐなどの効果もあり、相談室移転後は就職件数100件／年が200件／年となり効果が出ている。法改正の効果は、施行後3ヶ月ということで今の時点では判断できない。



ハローワークインターネットサービス <http://www.hellowork.go.jp> の「求人情報検索」